



ヒューマンコミュニケーショングループ ニュースレター
 2009年度 No. 1
<http://www.ieice.org/hcg/jpn/>



— Contents —

- ◆ 新運営委員長挨拶
- ◆ 2008年度HCGシンポジウム報告
- ◆ 研究会・関連行事カレンダー

新運営委員長挨拶

“だれでも参加できるヒューマンコミュニケーショングループを目指して”

平成21年度ヒューマンコミュニケーショングループ運営委員長
 長嶋祐二（工学院大学）

電子情報通信学会のヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)は平成7年度に発足し今年度で設立15年目を迎えます。設立以来HCGでは、人とコミュニケーション、情報メディアとコンテンツ、福祉と支援など「人にかかわるテーマを中心として様々な境界領域の研究」を工学系を始め心理、生理、医療、人文、社会、言語、教育などの研究者により学際的に幅広く取り上げてきています。そして、研究するコミュニティの違い、研究者と現場・当事者との遊離など様々な理由により、今までは一堂に会することのなかった異なる分野の研究者や現場・当事者とを融合した学術的発表と相互議論・交流・意見交換の場を提供し続けています。そのため、HCGは本学会のソサエティとは異なり、比較的小規模なグループという組織体系をとることにより、機動性のある分野横断的な活動を基礎的課題から最新のホットな話題に至るまで柔軟にかつ精力的に展開してきています。平成20年度には、第2種の「発達障害支援時限研究専門委員会(ADD)」と「ヒューマンプロトタイプ時限研究専門委員会(HPP)」が新たに発足しています。現在、HCGには4つの第一種研究会、5つの第二種研究会、そして3つの第三種研究会の12研究会体制となっています。詳細な研究会の構成は、末尾の一覧を参照してください。

HCGの活動は、12研究会に所属する皆様に支えられています。HCGは、学際分野で支えられていますので、これらの研究会に所属されている人が、必ずしも本学会の会員とは限りません。会員外へも開かれていることは、だれでも自由に参加し議論できるサロンのような場の提供を行い、互いに刺激しあい活性化することで、そこから新しい芽が出ることを期待しているからです。そのためには、HCGに登録されている会員のみではなく本学会の会員/非会員の区別なく外部に向け積極的に情報を発信していかねばなりません。そして、障害のあるなし、高齢かどうかに関係なく、誰でも参加し議論できる場の提供とそのための支援も重要です。

情報発信の有効な手段の一つとしてWebの活用があります。しかし、残念ながら現状のHCGのHPは関係者以外の人にとって有効な情報の提供手段となっていません。本年度は、情報の発信・蓄積などを考慮してアクセシブルなWebを目指して、HPのリニューアル作業を開始します。

だれでも参加できる場の提供では、新たな形態でHCGシンポジウム2009を12月10日(木)から12日(土)の期間で札幌コンベンションセンターにて開催いたします。本シンポジウムから、従来の研究会ごとに独立した発表形式ではなく、関連するテーマを異分野間で深く議論できる場の提供を目指しています。参加者や発表者に特に制限はありません。HCGに興味のある皆様の積極的な参加をお待ちしています。

だれでも参加できるための支援では、HCGとして長年取り組んできています「情報保障」を広く普及させることです。情報保障とは、障害のあるなしなどに関係なく、場を共有するすべての人が、その場で発信されている情報を得て、その場に参加できるようにするための活動です。今年度も、障害のある人も積極的に学会へ発表したり、参加したいできるように情報保障への取り組みを継続します。今年度中に、一般人への情報保障の啓蒙の意味も含め、「会議・プレゼンテーションのバリアフリー(仮)」を本学会の刊行物として出版を予定しています。出版されましたら、HCGのHPでもお知らせいたしますので、是非、一読していただければ幸いです。

HCGの活動は、会員、非会員を問わずに興味をもっていただける皆様のご理解とご支援によって支えられています。HCGの持続的な発展のために、積極的に様々な活動へのご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

◎現在の研究会の構成

【第一種研究会】

- ◆ ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)
- ◆ ヒューマン情報処理研究会 (HIP)
- ◆ マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)
- ◆ 福祉情報工学研究会 (WIT)

【第二種研究会】

- ◆ Webインテリジェンスとインタラクション研究会 (W12)
- ◆ 脳情報通信研究会 (BICT)
- ◆ 身体性情報学研究会 (IEB)
- ◆ 発達障害支援研究会 (ADD)
- ◆ ヒューマンブローブ研究会 (HPB)

【第三種研究会】

- ◆ ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション研究会 (VNV)
- ◆ 料理メディア研究会 (CM)
- ◆ 人間とICT倫理研究会 (EHI)

2008年度HCGシンポジウム報告

企画幹事
井原雅行 (NTTコムウェア)

2008年度HCGシンポジウムは、3月23日(月)から25日(水)の期間、島根大学との共催で、同大学松江キャンパスにて開催されました。総合大会と連動して開催してきた従来形式を改め、今回は新たなHCGシンポジウムのあり方を探る第一歩として、総合大会とは異なる会場にて開催しました。参加者数は222名(3日間の述べ人数は508名)にもものぼり、大盛況のうちに終了しました。

例年通り、HCG傘下の4つの第1種研究会(HCS、HIP、MVE、WIT)、および、第2種研究会(W12)、第3種研究会(VNV、CM)の合同で開催し、81件の一般講演に加え、オーガナイズドセッションとして、VNV研究会による「コミュニケーションの「場」を捉える」、および、CM研究会による「料理メディアの現状と将来像：若手研究者によるこれまでの研究会講演内容報告とパネルディスカッション」が行われました。

また、特別企画として、ネットワーク応用通信研究所のまつもとゆきひろ氏による招待講演「オブジェクト指向スクリプト言語「Ruby」の開発」、慶應義塾大学の稲見昌彦先生、東京大学の苗村健先生による招待講演企画「エンタテインメント工学：心を豊かにする科学技術の創生」、および、佐藤誠HCG運営委員長(東京工業大学)による特別講演「HC研究の過去・現在・未来～MVE研の事例から～」を実施しました。この特別講演の後には「HC研究分野の今後を探る」と題したパネル討論も開催され、活発な討論が行われました。

コーヒープレイクでは、パラレルトラックの休憩時間を揃えて参加者が交流しやすいよう配慮するとともに、和菓子で有名な松江にちなんで、その場で点ていただいた抹茶と和菓子のサービスもありました。懇親会でも松江郷土料理が多数出されるなど、松江の食文化がシンポジウム参加者の交流に一役買ってくれたのではないのでしょうか。

2009年度のHCGシンポジウムは、開催時期を3月から12月に変更し、12月10日(木)から12日(土)の期間、札幌コンベンションセンターにて開催します(<http://www.ieice.org/~hcg/sympo2009/>)。これまでのHCG所属研究会による合同開催形式ではなく、研究会に関係なく全発表申込を統一枠で取り扱い、関連研究を集めてセッションを組むことで、研究会間のより深い交流を目指します。従来のオーラル発表に加え、ポスター形式のインタラクティブ発表も募集し、インタラクティブ発表には賞を新設する予定です。幅広い分野からの多数のご参加をお待ちしております。

最後になりますが、島根大学での開催にあたり、無償で会場をご提供下さいました島根大学様、現地世話役としてお世話になりました縄手雅彦先生(島根大学)、および、シンポジウムの準備、運営にご協力下さいました実行委員の皆様には感謝いたします。

ヒューマンコミュニケーショングループ研究会・関連行事カレンダー
詳しくはHCG ホームページ <http://www.ieice.org/hcg/jpn/> をご覧ください。

2009年
9月29日(水)～4日(金) : FIT2009 @ 東北工業大学
10月29日(木)～30日(金) WIT研究会 @ 青森公立大学
10月31日(土) : HCS研究会 @ 鹿児島
11月12日(木)～13日(金) : CM研究会 @ 大常翔学園大阪センター
12月10日(木)～12日(土) : HCGシンポジウム @ 札幌コンベンションセンター
2010年
1月8日(金)～9日(土) : WIT研究会 @ 芝浦工業大学 豊洲キャンパス

☆e-mailによる情報配信を必要としない方は、その旨henkou@ieice.orgまで会員登録番号、氏名

ご連絡ください。処理に1ヶ月程度かかりますので、入れ違いに、再度情報通信 された場合は、ご容赦ください。
(ご連絡いただいた場合は本会、登録ソサイエティ、グループ、支部、からの全ての情報配信が止まりますので、情報配信を再度希望される時も、その旨henkou@ieice.orgまでご連絡下さい。)

ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice
(社)電子情報通信学会 サービス事業部
TEL:03-3433-6691 FAX:03-3433-6659